

いくぞう通信

議会レポート

No.28号

2021年3月議会報告

後援会事務所 栃木市岩舟町古江 792

TEL・fax 0282-55-8776

携帯 090-9010-7042

Eメール i-hary@cc9.ne.jp

あなたの相談相手、
気軽にお電話ください。
栃木市議会議員 針谷育造

3月議会は2月26日から3月26日までの29日間。令和3年度予算、令和2年度補正予算、条例改正31件、財産の無償譲渡1件、工事請負2件、指定管理1件、教育長等の任命3件、人権擁護委員2名、農業委員1名などを議決し閉会した。詳しくは議会広報等をご覧ください。



市民財産の無料譲渡・・・ウソでしょう？・・・

旧小野寺北小1億5千万円無料が決まる

・・・市長への怒り、議会への失望感・・・「議会も地に落ちた？」

市民の声を代弁し、無料に反対した市民派議員

<法と、手続き、市民無視の議案に賛成できません>

針谷育造、茂呂健市、白石幹男、川上均、内海まさかず、入野登志子、古沢ちい子、小久保かおる、・・・8人

賛成した一人ひとりの議員は、説明責任を果たす義務あり！

賛成の理由を、市民に説明してもらいたい議員

残念ながら賛成した・・・関口孫一郎、青木一男、永田武志、松本喜一、天谷浩明、浅野貴之、大谷好一、坂東一敏、千葉正弘、福田裕司、氏家晃、小平啓祐、大浦兼政、広瀬義明、福富義明、森戸雅孝、大阿久岩人、中島克訓、針谷正夫、梅沢米満・・・20人

質問1、旧小野寺北小学校の財産処分について

「北小の鑑定評価は誰がしたのか」？

部長「日本理化が1億5000万円で評価した」



針谷「買う方（日本理化）が何で評価をするのか。逆でないのか」

部長「私学審議会に出す資料で正当性がある」…「おかしい」の傍聴者の声

針谷「なぜ公募方式をやらないのか、予定価格はなぜ決めないのか？」

部長「スケジュール的に公募方式は困難と判断した」

市が業者に合わせて、何で事務を進めなければならないのか。忖度以外の何物でもない。

2年前に、地元ふれあい会には説明しているが？

議会には今年の1月、やっと説明、議会・市民無視はなぜ？

この質問でも答弁はなく、「議会に知らせたくないことだけ」明らかになった。本当にこれでいいのか。「市民の財産を

勝手に無償譲渡するな」の声は市民の声である。市民の為に仕事をするのが、市長の役目である。分かっているの？

なぜ業者にそこまで合わせるのか？理解できない

市長「情報提供のタイミングが遅れて、こうなった」

どんな理由をつけても多くの市民は納得していない。主権者である市民をないがしろにする市長判断は、市行政の自殺行為、市長

の職権乱用であり、法令順守も見られない。市民の声を聞かない末路は哀れである。市長は肝に銘ぜよ。

議決した説明責任は、議員にあります

なぜ、どんな理由で⇒法と、手続きを説明すべきです？

議会の仕事は、①予算、条例などを決定すること②行政をチェックすること③政策を提案すること。今回は無償譲渡を議決した。

その説明を議員に聞こう。市民の役割として当然です

質問2 サッカースタジアムについて

行政財産は貸せない…のに貸し付けた市長

小保方部長「岩舟総合運動公園に整備されたサッカー専用施設で都市公園法、条例に定めた貸し付けであり、行政財産の貸し付けではない。自治法96条（議決事件）には該当しない」

針谷「おかしな理屈であり納得できない。今までは安価（時間520円）で借りられたのが、今後は（時間9万円）となる。市民が自由に使えないことは明らかだ。

使用料、固定資産税無料を…市民はどう見るのか？

小保方部長「公式戦の開催やイベントなど多くの観客などの集客が見込まれ、地域振興に寄与し、公共性、公益性が高いの

で使用料を免除している」

将来の希望的観測ばかりで、説明になっていない。

市民すべてに公正・公平の原則は…答弁無し

これが行政かと・傍聴者から非難の声… 大川市長大丈夫？



何でこうなったのか？ 深い・深い…日本理化との経過を明らかにする

1、始まりはサッカー練習場から…岩舟運動公園東の空き地を2700万円で譲る。
2、いわふね観光農園の筆頭株主となり経営権を取得。依然として赤字続きの経営。
3、サッカー練習場へ土砂流入（台風19号）地主に業務妨害罪で2580万円要求・その後取り下げ。
4、サッカースタジアム建設支援 10年間使用料、固定資産税無料約1億5000万円
市長の職権乱用を、市民122人が住民監査請求する。

5、これを正当化するために、9月議会で条例改正を後追いで実施する。
6、湯楽々館の指定管理者として、金額で一番高い日本理化シアードソリューションズが落札。
7、今回旧小野寺北小学校の1億5000万円専門学校用地として無償譲渡。
8、3月26日議会で無償譲渡可決、3月10日保留になっていた県の私学審議会同日許可する。
なんと思いやりのある市の対応です。

「栃木市大丈夫なのか」？ 「乗っ取られないか」？

これを本当に正せるのは → “市民と議会です”

議会の状況は先にも述べたが、心ある議員は8人かもしれないが、賛成議員にも全面賛成している議員は少ない。「今後2度と起きない方策をとること」が賛成の弁。身近な議員に「今回どうしたのか」…聞いてください！

質問3、職員のマイナンバー取得について

制度が発足して5年半が過ぎようとしているが、多くの国民はその必要性を感じていない。むしろ個人情報の漏洩やプライバシーの侵害を危惧して

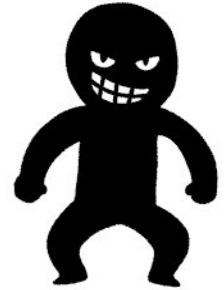
いる。総合政策部長名で、毎月の職員の取得状況を定例的に報告する指示があったが、これは職務命令か？市民の取得状況は。

職員の報告は任意であり、職務命令ではない

総合政策部長「今の発行部数は3万462件で19.04%です」

針谷「国民健康保険が3月からマイナンバーと連動するようだが、カードがなければ受診できないのか」

生活環境部長「カードがなくとも今まで通りに受診できます。心配しないでほしい」システム不備で10月にずれ込むことになる。そのズサンさがまたも浮き彫りになった。



個人情報が狙われる

令和3年予算は 厳しい財政運営を強いられる

総額651億3千万円 前年マイナス8億6千万円(-1.3%)

市税12億2297万円の減 借金残高635億660万円

- ・給食一部無料化（小学6年、中学3年）1億3300万円
節約で財源を作る計画、令和4年度以後の安定財源の見通しはない（財務部長）
- ・小中学校コンピュータ事業 3億3684万円
G I G IスクールOA機器借り上げ料 2億4794万円 支援委託料5821万円
- ・文化芸術、文学館関係事業 4億8524万円
芸術館整備 3億1725万円 芸術館開館準備1億3707万円、
文学館開館準備3092万円
- ・栃木インター西産業団地造成事業 9億0221万円 面積23. ha
- ・平川土地区画整理事業 5億3246万円 面積22.7 ha
- ・ふれあいバス事業 3億2835万円 12路線
- ・くらタク事業 6987万円 ・国体関係事業 2億9959万円

新規事業

- ・認知症にやさしいまちづくり事業 200万円
- ・認定こども園施設整備補助金 1406万円 ・学童保育施設整備補助金 1億250万円
- ・産前産後、ヘルパー派遣事業 292万円 ・商店街景観向上補助金 600万円
- ・介護人材就労活動支援員設置事業 389万円

デスクベン 今年の税収が12億3千万円減り、新たに給食の一部無料化で1億3千万円増となる。金がない中での令和3年度の船出である。一方では日本理化には大サービスをするオカシナ行政、チグハグな政治、

このチェックを果たさない議会。多難な船出でとなった。市民の厳しい目で見ることが一番大事であることを感じた3月議会でした。市民の金を、市民のために使う。これは大原則です。

